

4 「はぐくむ・やまなし」の実現

「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	4	「はぐくむ・やまなし」の実現
----------	---	----------------

政策	1	豊かな学びを支える教育環境の整備	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	15	
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】</p> <p>いじめや不登校をなくし、学力やモラル、豊かな人間性を備えた人づくりを進めるためには、教育環境を整えていくことが必要です。このため、本県の実情に応じた教育振興に関する計画を策定するとともに、教員の資質向上を図ります。また、学校評価、学校評議員制度の充実を図るなど、地域と連携した学校運営に努めます。</p>					
平成 22 年度 の 主 な 取 り 組 み 状 況	項 目		頁	担当部局	
	○ 小・中学校適正規模化に向けた取り組みに対する支援		P.88	教育委員会	
	○ やまなしの教育振興プランの推進		P.88	教育委員会	
	○ 学校の自己評価の推進		P.88	教育委員会	
	○ 学校評議員会の実施		P.89	教育委員会	
	○ 民間企業等派遣研修の実施		P.89	教育委員会	
	○ 教員評価の実施		P.90	教育委員会	
	○ ものづくり人材育成の実践		P.90	教育委員会	
	○ 峡東地域総合制高校の設置		P.91	教育委員会	
	○ 山梨県特別支援教育振興審議会の開催		P.92	教育委員会	
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）		4,217 百万円		
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		3,840 百万円		
	前年度までの事業費		839 百万円		
	本年度の事業費		3,001 百万円		
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進 捗 率 (%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	学校の自己評価結果を基に外部評価を実施した県立学校の割合	35.0% (H18)	100.0% (H22)	100.0% (H22)	100.0

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 小・中学校適 正規模化への 支援 【義務教育課】	———	児童生徒にとって望ましい教育環境を整備するため、教育環境整備構想などに基づく学校規模の適正化に取り組む市町村に対して支援を行った。 これにより、小・中学校適正規模化の推進に寄与した。 ・適正規模化に向けた取り組みに対する支援 相談窓口の設置
2 やまなしの教 育振興プラン の策定 【教：総務課】	———	時代の要請に的確に応えながら、本県教育の一層の振興を図るため、平成21年2月に策定した「やまなしの教育振興プラン」の着実な推進を図った。 これにより、数値目標を掲げた50項目について、平成21年度の状況を公表し、県民等の教育に関する理解を深めた。 ・「やまなしの教育振興プラン」進捗状況の公表 平成22年12月
3 情報機器を活 用した教育の 推進 【高校教育課】	———	平成21年度に整備した地上デジタル放送に対応した機器やICTを活用することにより、視聴覚教材の作成や分かりやすい授業の実践に努めた。 これにより、情報機器を活用した教育の推進に寄与した。 ・平成21年度に整備した機器 パソコン413台、プロジェクター199台 地上デジタル放送受信機器 42台
4 学校評価の推 進 【高校教育課】	———	組織的、継続的な学校運営の改善を図るため、校長のリーダーシップの下、教職員評価制度と緊密な連携を図りながら、自ら設定した目標の達成状況について点検・評価を行う学校評価制度を推進した。 これにより、自己評価結果に対する学校関係者評価の実施率は100%、評価結果のホームページでの公開割合は58.5%になり、学校評価の推進に寄与した。 ・学校の自己評価の実施 全県立学校41校 ・自己評価に対する学校関係者評価の実施 41校 ・自己評価結果を基にした学校関係者評価実施の指導 ・ホームページによる学校評価結果の公表

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
5 学校評議員制度の充実 【高校教育課】	教育指導費 (2,400) 1,680	<p>地域に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携協力しながら特色ある教育活動を展開するため、学校評議員から学校運営について意見を伺うとともに、学校評議員による適切な学校関係者評価を行うなど制度の充実を図った。</p> <p>これにより、学校運営の円滑化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校評議員会の開催 全県立学校 41 校 <ul style="list-style-type: none"> 会議を 4 回以上実施 5 校 会議を 3 回実施 34 校 会議を 2 回実施 2 校
6 総合教育センターにおける教員の研修 【教：総務課】	教育指導費 (2,663) 1,414 教育センター費 (3,482) 2,448	<p>教育公務員特例法など、教師として必要な法令に関する知識や実践的な指導力などを修得させるため、総合教育センターにおいて管理職や初任者などを対象とした研修を実施した。</p> <p>これにより、教職員の資質向上と意識改革が図られ、学校教育の振興と充実に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理職、初任者、5 年経験者研修、教育課題研修等の実施 167 講座
7 民間企業等派遣研修の実施 【義務教育課】	—————	<p>豊かな見識と広い視野に立った教育力を培い、社会の急激な変化に対応した適切な教育が実践できるよう、民間企業の経営理念や業務などが体験できる研修に、教員を派遣した。</p> <p>これにより、これまでに 91 人を派遣し、研修終了後は、研修記録の公開、成果報告会など、異業種の業務で得た知識と経験を生かした教育実践を行い、教育力向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間企業等派遣研修の実施 1 人 (株オギノ)
8 教職員等中央研修への派遣 【義務教育課】	—————	<p>学校の適切な管理・運営はもとより、特色ある教育活動の推進など地域の中核として教育に取り組む人材を養成するため、高度で専門的な知識が修得できる独立行政法人教員研修センターの中央研修に校長等を派遣した。</p> <p>これにより、研修終了後は、地域における学校評価の改善や学校の危機管理等に係る研究会などを通じ、研修の成果を還元し、地域の教育力の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員等中央研修への派遣 30 人

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
9 海外派遣研修 の実施 【義務教育課】	教育指導費 (5,004) 4,297	<p>国際的な視野に立った見識や実践的な英語力等が高められるよう、教員を海外に派遣する研修を実施した。これにより、諸外国の教育の実情を視察調査・実体験し、教育力の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外派遣研修の実施 22人 教育課題研修 20人 <p>※海外派遣研修（研修指導者養成）事業費については、平成22年度をもって終了した。</p> <p>英語教育コース 2人</p>
10 教員の資質向上の推進 【教：総務課】 【義務教育課】 【高校教育課】	——	<p>教員の資質や能力の向上を図るために、教員の評価制度を継続して実施するとともに、評価結果の活用等の課題について検討した。</p> <p>これにより、小・中学校 4,823人、県立学校 1,767人の教員評価を実施し、教員の資質向上及び学校組織の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員評価の実施 全県立学校、全公立小・中学校 ・研究委員会等による課題についての検討 ・評価者研修会の開催 3回
11 ものづくり人材育成のための専門高校と地域産業の連携 【高校教育課】	教育指導費 (7,800) 7,717	<p>専門教育の充実と、ものづくりを支える将来の専門的職業人の育成を図るため、工業高校と地元企業が連携して、生徒の企業現場実習や教員の指導力アップのための企業研修等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成連携推進委員会の開催 8回 ・人材育成の実践 <ul style="list-style-type: none"> 生徒の企業現場実習（生徒一人当たり14日間） 延べ454人、受け入れ企業102社 企業技術者等による実践的指導（生徒一人当たり9日間） 延べ521人、企業37社 教員の企業等研修（教員一人当たり5日間） 延べ79人、企業20社

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
12 食・くらしを支える専門的職業人の育成 【高校教育課】	教育指導費 (2,400) 2,035	<p>農業や農業関連産業の担い手を育成するため、農業系高校と地域社会が交流・連携し、生徒への実践的な指導を行うとともに、先進的な農家での現場実習や企業実習など、教員への高度技術に関する研修などを実施した。</p> <p>事業実施後のアンケート結果では、生徒 81%、教員 100%、農家・企業 100%と満足度は非常に高かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成連携推進委員会の開催 2回 ・生徒への実践的な指導 延べ 1,489人 ・教員への高度技術研修 延べ 47人
13 キャリア教育の推進 【義務教育課】	教育指導費 (1,300) 1,028	<p>児童生徒一人ひとりの勤労観、職業観を育てるため、発達段階に応じた体系的なキャリア教育を推進した。</p> <p>これにより、県内小中高等学校のキャリア教育推進中核教員を育成し、手引き書を配付することにより、キャリア教育の理解を深めることに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育推進会議の開催 3回 ・キャリア教育アドバイザー養成研修の実施 117人養成
14 魅力ある高校づくりの推進 【学校施設課】 【新しい学校づくり推進室】	学校建設費 (3,218,973) 2,971,868 [230,602]	<p>生徒数が減少する中で、魅力と活力ある高校づくりを進めるため、県立高等学校整備基本構想を策定し、学校関係者やPTA等を対象とした意見交換会等を開催した。</p> <p>これにより、整備基本構想に基づく学校づくりについての理解を深め、高等学校の再編整備や学科改編の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・峡東地域総合制高校の設置 笛吹高校竣工式 平成 23 年 3 月 ・東部地域の再編整備 地域説明会等の開催 5回 ・峡南地域の再編整備 地域説明会等の開催 4回 ・中央高校の整備・拡充 校舎等の設計の実施 作業部会の実施 4回

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
15 特別支援教育プラン(仮称)の策定に向けた検討 【新しい学校づくり推進室】	———	<p>特別支援学校の整備計画を含む将来構想や特別支援教育の推進方策などを調査審議する審議会を開催し、特別支援教育プラン(仮称)の策定に向けて審議を進めた。</p> <p>これにより、知的障害者の増加、軽度知的障害に対応した高等部教育、特別支援学校の施設整備など特別支援教育に係る課題の整理に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県特別支援教育振興審議会の開催 6回 ・山梨県特別支援教育振興審議会答申 平成23年2月

「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	4	「はぐくむ・やまなし」の実現
----------	---	----------------

政策	2	個性を活かし未来を拓く学校教育の充実	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	12		
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】 山梨の未来を拓いていくためには、ふるさと山梨を愛せる人や世界に羽ばたく力や知恵を身に付けた人、変化の激しい時代をたくましく生き抜いていく人などを育成していくことが必要です。21世紀を担う子ども達が、郷土の歴史や伝統文化に誇りを持ち、学力や思いやり、やさしさ、たくましさ身に付けられるような学校教育の充実に努めます。</p>						
		項 目	頁	担当部局		
平成22年度の主な取り組み状況		<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールカウンセラーの配置 ○ スクールソーシャルワーカーの配置 ○ きめ細かな指導を行うための教員の配置 ○ 小学校1、2年生を対象にした少人数学級編制の実施 ○ 中学校1年生を対象にした少人数学級編制の実施 ○ 栄養教諭が中心となって進める食育推進 ○ 郷土学習教材「ふるさと山梨」の活用 ○ 読解力向上のための実践事例集の作成 ○ 地域に在住する社会人の講師としての活用 ○ 教育課程研究委員会の開催 	P.94 P.94 P.95 P.95 P.95 P.96 P.96 P.97 P.97 P.98	教育委員会 教育委員会 教育委員会 教育委員会 教育委員会 教育委員会 教育委員会 教育委員会 教育委員会 教育委員会		
事業費		行動計画の事業費（4年間の計画額）	11,333 百万円			
		施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）	10,847 百万円			
		前年度までの事業費	8,076 百万円			
		本年度の事業費	2,771 百万円			
数値目標の達成状況		数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
		公立小・中学校で認知したいじめの解消率	75.0% (H18)	80.0% (H22)	76.5% (H22)	30.0

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 いじめ、不登校等問題行動対策の推進 【義務教育課】	教育指導費 (174,832) 168,588	<p>全国的に深刻化している「いじめ問題」や不登校などの問題行動の解決に向け、児童生徒等の指導・相談体制を強化するため、スクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカーの配置等を行った。</p> <p>これにより、不登校児童生徒数は、平成 21 年度は 877 人であったが、平成 22 年度は 819 人となり、不登校問題の解決に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの配置 全中学校、小学校 37 校、高等学校 6 校 ・要請訪問スクールカウンセラーの派遣 年間 308 回 ・生徒指導推進協力員の配置 小学校 4 校 ・スクールソーシャルワーカーの配置 4 教育事務所 11 人
2 豊かな心の育成推進 【義務教育課】	教育指導費 (2,500) 1,963	<p>豊かな人間性を備えた人づくりを進めるため、「やまなし」心づくり推進会議を開催するとともに、小・中学校が連携した地域ぐるみの道徳教育を実施するなど、豊かな心の育成に向けた取り組みを行った。</p> <p>これにより、小・中学校や家庭・地域との連携による、地域に根ざした道徳教育の実現につながり、規範意識やふるさとを大切に思う心情の育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やまなし」心づくり推進会議の開催 6 回 ・「やまなし」心づくり研究指定校 9 校 ・「やまなし」心づくり推進運動の実施 全公立小・中学校 ・「やまなし」心づくりリーダー養成研修会の開催 5 回 ・普及啓発誌「つばさ 42 号」の発行 11,000 部
3 道徳教育用教材の購入・活用 【義務教育課】	教育指導費 (52,400) 43,618	<p>道徳教育の一層の充実を図るため、道徳教育用教材活用支援事業連絡会議を開催するとともに、県内公立小中学校の全児童・生徒に道徳教育用教材の購入・配布を行った。</p> <p>これにより、新学習指導要領の内容に合った資料を使用した道徳の授業が実施され、道徳教育の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育用教材の購入 86,442 冊

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>4 きめ細かな指導の実施</p> <p>【教：総務課】 【義務教育課】</p>	<p>教職員費 (項：小学校費) (742,704) 742,704</p> <p>教職員費 (項：中学校費) (712,721) 712,721</p>	<p>教科、単元等の特性に応じたきめ細かな指導を行うため、チームティーチングや少人数指導を行えるよう教員を配置した。</p> <p>これにより、小学校に 118 人、中学校に 113 人の教員を配置し、子どもの学力向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かな指導を行うための教員の配置
<p>5 少人数教育の拡充</p> <p>【教：総務課】 【義務教育課】</p>	<p>教職員費 (項：小学校費) (795,799) 795,799</p> <p>教職員費 (項：中学校費) (295,145) 295,145</p>	<p>学習環境や生活環境の大きな変化に対応し、きめ細かな指導を行うため、小学校 1、2 年生を対象に 30 人学級編制を、中学校 1 年生を対象に 35 人学級編制を実施した。</p> <p>これにより、多くの小中学校で少人数学級編制を実施し、子どもの学力向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 1、2 年生を対象にした少人数学級編制の実施 小 1 38 校 小 2 43 校 (アクティブ 小 1 0 校 小 2 2 校) ・中学校 1 年生を対象にした少人数学級編制の実施 中 1 25 校 (アクティブ 2 校)
<p>6 学校教育における農業体験学習の促進</p> <p>【義務教育課】</p>	<p>—————</p>	<p>農業への関心が高く、豊かな人間性を備えた児童生徒を育成するため、小・中学校における農業体験学習を促進した。</p> <p>これにより、事業を始めてから小・中学校全体で 88.2%の学校で農業体験学習が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業体験学習の機会の提供 勤労生産学習推進校 小学校 16 校 中学校 9 校

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 学校における 食育の推進 【スポーツ健康課】	学校保健費 (1,986) 1,516	<p>児童生徒が豊かな人間性を育み、生きる力を身に付け、地域の食文化を理解し、食に対して感謝する心を育てられるよう、栄養教諭の配置拡大を促進するなど学校における食に関する指導を充実するとともに、給食への地場産物の活用に向けた取り組みを進めた。</p> <p>このため、栄養教諭の配置された学校や地域を中核として位置づけることにより、児童生徒・保護者の食に関する意識の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会、講習会等の開催や学校訪問等による普及・啓発 <ul style="list-style-type: none"> 栄養教諭・学校栄養職員等研修会 1回 113人 給食主任研修会 240人 調理技術研修会 1回 120人 栄養・衛生管理講習会 1回 636人 学校栄養職員新規採用研修会 4回 5人 学校栄養職員経験者研修会 8回 3人 栄養教諭指定事業報告・講演会 1回 210人 学校給食大会 1回 495人 学校訪問 38校 ・栄養教諭が中心となって進める食育推進 <ul style="list-style-type: none"> 栄養教諭を中核とした食育推進事業 2市2町 ・栄養教諭の配置拡大の促進
8 郷土学習教材 「ふるさと山梨」 の活用 【義務教育課】	教育指導費 (291) 166	<p>児童生徒の郷土への関心を高めることにより、郷土を愛し、誇りを持てるような心情が育まれるよう、郷土学習の教材である「ふるさと山梨」を活用した。</p> <p>これにより、郷土学習コンクールでは680点の作品の募集があり、故郷山梨への興味関心が向上した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと山梨」の活用 <ul style="list-style-type: none"> 「ふるさと山梨」郷土学習推進会議の開催 3回 郷土学習コンクールの実施 郷土学習実践研究発表大会の開催

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
9 「確かな学力」 の定着・向上 【義務教育課】	教育指導費 (948) 507	<p>「確かな学力」の定着・向上を図るため、全国学力・学習状況調査や山梨県教育課程実施状況調査の結果を分析するとともに、課題の改善に向けた実践的な研究を行った。</p> <p>これにより、県で示した改善プランや学力向上プログラムを参考にして、県内全ての小中学校が授業改善や学力向上の取り組みを推進することに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検証改善委員会の開催 3回 教科別の調査結果の分析 ・改善プランの策定 小学校 44 項目、中学校 45 項目 ・研究指定校による実践的な研究の実施
10 豊かな言語環境 づくりの推進 【義務教育課】	教育指導費 (607) 494	<p>小・中学校において、「確かな学力と伝え合う力を育てる国語力の向上」を具現化するため、国語力向上推進協議会を設置し、「読解力向上のための実践事例集」を作成・配布した。</p> <p>これにより、読解力について、各教科で具体的にどのように指導していくのかを提示し、豊かな言語環境づくりの推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語力向上推進協議会の開催 4回 ・「読解力向上のための実践事例集」の作成 小学校版 1,613 部 中学校版 535 部
11 いきいき教育 地域人材の活用 推進 【義務教育課】	教育指導費 (7,099) 6,580	<p>児童生徒がいきいきと学べるよう、地域に在住する社会人を公立の小・中学校等に講師として派遣し、優れた知識・経験や技術を活かした授業を行った。</p> <p>これにより、地域の特色や郷土の特性を生かした授業やより専門性のある実技的な授業を通して、子どもたちの学びが広がり、楽しさを深めることに寄与できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人による全教科、道徳、総合的な学習の時間、 小学校外国語活動の指導 2,457 時間 ・運営協議会の開催 2回 ・全講師のうち、学校と同じまたは隣接する市町村在住の講師人数の割合 94.0%

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
12 教育課程の研究 【義務教育課】	教育指導費 (646) 444	<p>児童生徒の基礎・基本の定着を図り、確かな学力の向上を目指すため、学習指導の工夫・改善や適切な評価の在り方について協議・研究を行い、指導資料を作成した。</p> <p>これにより、教育課程編成作業に役立ち、全ての学校で適切な移行措置が行われることに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程研究委員会の開催 6回 ・教育課程指導資料の作成 <ul style="list-style-type: none"> 手引き 小学校に配付 1,550部 詳細版をホームページに掲載

「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	4	「はぐくむ・やまなし」の実現
----------	---	----------------

政策	3	明るく活力に満ちたスポーツの振興	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	7	
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】 健康で明るい生活を支える豊かなスポーツライフの実現に向け、子ども達へ運動の機会を提供するとともに、スポーツの才能開花に向けた取り組みなどを進めます。また、スポーツ活動に親しめる環境の充実や生涯スポーツ活動の活発化を図るとともに、ヴェンフォーレ甲府を県民挙げてサポートします。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ スポーツイベント・フェスティバルの開催		P.100	教育委員会	
	○ スポーツ少年団の育成・強化への支援		P.100	教育委員会	
	○ 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の開催		P.101	教育委員会	
	○ 山梨県スポーツ・レクリエーション祭の開催への支援		P.101	教育委員会	
	○ 全国スポーツ・レクリエーション祭への選手派遣支援		P.101	教育委員会	
	○ いきいき山梨ねんりんピックの開催への支援		P.101	教育委員会	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			2,600 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			2,048 百万円	
	前年度までの事業費			1,656 百万円	
	本年度の事業費			392 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	週3日以上授業以外で運動・スポーツを実施している児童（5・6年生）の割合	48.1% (H18)	62.1% (H22)	47.0% (H22)	△ 7.9
	総合型地域スポーツクラブを設置している市町村率	17.9% (H18)	82.1% (H22)	85.2% (H22)	104.8

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 スポーツ大好きキッズの育成 【スポーツ健康課】	———	<p>子ども達にスポーツの楽しさを体感させるとともに、埋もれているスポーツの才能を発掘・開発するため、平成19年度から平成21年度までモデルとなる小学校に「総合運動部活動」を創設し、実践事例について研究を行った。</p> <p>これにより、その成果をハンドブックにまとめ、各市町村教育委員会・各小学校へ配付し、子供達がスポーツに興味を持つことに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 普及・啓発用冊子「元気ッズクラブハンドブック」の配布 各市町村教育委員会、各小学校に配布 450部
2 ジュニアアスリートの強化 【スポーツ健康課】	体育振興費 (12,300) 12,300	<p>長期的・継続的な選手・指導者育成システムづくり等一貫指導体制の確立を目指すため、ジュニア育成に関する研究の成果を基にした指導者育成及びジュニア層の育成強化を行う(財)山梨県体育協会に対して支援した。</p> <p>これにより、指導体制の整備を推進し、ジュニア層の競技力向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツイベント・フェスティバルの開催 7回 小・中・高スポーツ教室の開催 7回 小中、中高合同練習会の開催 14回
3 スポーツ少年団の育成 【スポーツ健康課】	体育振興費 (856) 856	<p>スポーツ少年団の指導・推進体制を充実させるため、県スポーツ少年大会の開催やリーダーの養成など、(財)山梨県体育協会が行うスポーツ少年団の育成・強化に向けた取り組みに対して支援した。</p> <p>これにより、スポーツ少年団フェスティバルへの参加団は、49団、参加者は660人となり、団員同士の交流の輪が広まり、研修会等を通じて、指導者やリーダーの資質向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県スポーツ少年大会の開催 平成22年7月 リーダー養成研修会の開催 5回 県スポーツ少年団フェスティバルの開催 平成22年4月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 生涯・地域スポーツの振興 【スポーツ健康課】	体育振興費 (2,026) 1,382	<p>県民が明るく豊かなスポーツライフを実現できるよう、広域スポーツセンターを活用し、県体育指導委員協議会をはじめとするスポーツ関係団体と連携する中で総合型地域スポーツクラブを育成するとともに、県民の必要とするスポーツ情報を提供した。</p> <p>これにより、これまで18市町村において21クラブが創設され、生涯・地域スポーツの振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の開催 3回 ・クラブマネージャー養成講習会の開催 3日 ・「やまなしスポーツ情報ネット」等によるスポーツ情報等の提供
5 スポーツ・レクリエーションへの支援 【スポーツ健康課】	体育振興費 (9,987) 9,112	<p>県民が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しみ、交流が深められるよう、県スポーツ・レクリエーション祭の開催や全国スポーツ・レクリエーション祭への選手団の派遣に対して支援した。</p> <p>これにより、10市町において18種目の競技が実施され、4,715人が参加したことにより、県民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県スポーツ・レクリエーション祭山梨県実行委員会への支援 山梨県スポーツ・レクリエーション祭の開催 平成22年5月 ・全国スポーツ・レクリエーション祭への選手派遣 選手・役員163人派遣 平成22年10月(富山県)
6 いきいき山梨ねんりんピックへの支援 【スポーツ健康課】	体育振興費 (1,000) 1,000	<p>高齢者がスポーツを通して、健康を保持・増進し、生きがいを感じられるよう、いきいき山梨ねんりんピックの開催に対して支援した。</p> <p>これにより、11種目の競技を実施し、2,497人が参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいき山梨ねんりんピック実行委員会への支援 いきいき山梨ねんりんピックの開催 平成22年9月

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 スポーツ施設の整備・充実 【スポーツ健康課】	体 育 施 設 費 (366,290) 365,858	県民のニーズに応え、良好なスポーツ環境を提供するため、県民スポーツ施設の整備・充実を推進した。 ・小瀬体育館の空調設備の整備

「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	4	「はぐくむ・やまなし」の実現
----------	---	----------------

政策	4	地域における文化・伝統の継承と文化力・教育力の向上	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	12		
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】 本県が有する優れた伝統文化や、人と人とのあたたかいつながりで形成された地域社会は、全国に誇れる資産です。これらを確実に次世代へと引き継いでいく視点に立ち、県民文化祭の開催、国民文化祭の開催準備などを進めます。また、声かけあいさつ運動を展開するとともに、高齢者と子どもの交流を推進するなど、地域の連帯感の醸成に努めます。</p>						
		項 目	頁	担当部局		
平成22年度の主な取り組み状況		<ul style="list-style-type: none"> ○ 国民文化祭の開催準備 ○ 県民文化祭の開催 ○ 巡回児童劇場の実施 ○ 山梨芸術劇場の実施 ○ やまなし文学賞の授与 ○ 博物館等における郷土学習関連事業の実施 ○ 博学連携による郷土学習の推進 ○ やまなし若者地域活性化プロジェクトの実施 ○ 「社会教育振興フォーラム」の実施 ○ やまなし学校応援団の育成 	P.104 P.104 P.104 P.104 P.105 P.105 P.105 P.106 P.107 P.108	企画県民部 企画県民部 企画県民部 企画県民部 教育委員会 教育委員会 教育委員会 教育委員会 教育委員会 教育委員会		
事業費		行動計画の事業費（4年間の計画額）		5,664 百万円		
		施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		3,777 百万円		
		前年度までの事業費		2,318 百万円		
		本年度の事業費		1,459 百万円		
数値目標の達成状況		数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
		やまなし地域塾への参加者数	— (H18)	2,150人 (H22)	2,378人 (H22)	110.6

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>1 国民文化祭の開催準備</p> <p>【生涯学習文化課】 【国民文化祭課】</p>	<p>芸術文化振興費 (13,728) 12,755</p> <p>県民文化振興費 (919,102) 908,386</p>	<p>本県における文化力の向上等を図るため、国内最大級の文化の祭典であり、多彩な文化活動の発表や交流の場となる国民文化祭の平成 25 年開催に向けた準備を進めた。</p> <p>これにより、芸術文化活動の活性化に寄与し、開催準備は順調に進んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民文化祭山梨県実行委員会等の開催 14 回 ・実施計画大綱原案の策定 ・PR イベントの開催 14 回 ・県民文化ホール小ホール等改修工事の実施
<p>2 県民文化祭の開催</p> <p>【生涯学習文化課】</p>	<p>芸術文化振興費 (13,753) 12,958</p>	<p>県民の文化活動への参加を促進し、個性あふれる文化を創造するため、県民総参加の「やまなし県民文化祭」を開催した。</p> <p>これにより、県民文化祭の総参加者数は 22 万 9,838 人に上り、芸術文化活動の振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合フェスティバルの開催 3 事業 平成 22 年 10 月～平成 23 年 3 月 ・部門別フェスティバルの開催 25 ジャンル 平成 22 年 4 月～平成 23 年 2 月 ・地域フェスティバルの開催 3 区分 平成 22 年 6 月～平成 23 年 3 月
<p>3 芸術文化の推進</p> <p>【生涯学習文化課】</p>	<p>芸術文化振興費 (6,188) 6,061</p>	<p>県内の芸術文化活動を促進するため、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、芸術文化団体に対して支援した。</p> <p>これにより、山梨芸術劇場や県芸術文化協会の指導者派遣事業が実施され、小中高校等の児童・生徒に対し、芸術鑑賞の機会を提供し、芸術文化の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回児童劇場の実施 小学校 10 校で開催 ・山梨芸術劇場の実施 6 公演を実施 ・山梨県芸術文化協会への支援 講習会 5 回や指導者派遣 46 回に助成

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 やまなし文学賞の授与 【学術文化財課】	文学館費 (7,300) 6,520	<p>県民の文学に関する創作・研究活動を奨励・促進し、本県の文学を振興するため、小説や研究・評論などの分野で優れた作品を「やまなし文学賞」として顕彰した。</p> <p>これにより、樋口一葉生誕120年を記念して創設された「やまなし文学賞」の応募者は338編(小説部門)であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなし文学賞実行委員会への支援 応募338編(うち県内27編) 応募者の年齢 15～94歳
5 博物館等郷土学習の推進 【学術文化財課】	考古博物館費 (1,775) 1,522 文学館費 (393) 384 博物館費 (4,314) 4,008	<p>県民が郷土を知り、郷土を愛する心を育てるため、県立博物館等で実施される郷土学習関連事業への参加を促進した。</p> <p>これにより、4館で様々な郷土学習関連事業のメニューを実施し、18,439人の参加を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各館における郷土学習関連事業の実施 山梨の文学散歩、シンボル展 外 全58回 ・博学連携による郷土学習の推進 美術館 あつまれ！びじゅつ探検隊 53人 子どものためのワークショップ 23回 1,286人 外 考古博物館 親子体験火おこし 5,717人 史跡文化財セミナー 117人 外 文学館 親子ほのぼの朗読会 3回 156人 子ども向け名作映画鑑賞会 1回 366人 外 博物館 体験プログラム 12回 910人 自由研究プロジェクト 1回 797人 外 合計 18,439人

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
6 国・県指定文化財の指定及び保存・活用 【学術文化財課】	文化財保護費 (166,329) 154,961	<p>本県の文化財の保存・活用を推進するため、埋蔵文化財等についての調査を行うとともに、文化財保護審議会の審議を通じた、文化財の指定、所有者等が行う文化財の保存修理事業への支援を行った。</p> <p>これにより、県指定文化財の指定、史跡買い上げ・史跡環境整備事業の実施、国・県指定文化財の保存修理が進み、文化財保護に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会の開催 1回 ・市町村が行う調査への支援 文化財保護を目的とした市町村の史跡買い上げ、史跡環境整備事業への支援 武田氏館跡、甲斐国分寺跡 外4件 ・国・県指定文化財の保存事業への支援 国・県指定文化財の保存修理、管理を行う所有者等への支援 慈眼寺本堂外2棟保存修理 外72件
7 甲府城跡櫓門の整備 【学術文化財課】	公 園 費 (224,000) 106,594 [113,166]	<p>県民の歴史教育の充実や甲府市中心市街地活性化、観光振興に繋げるため、甲府城跡に存在した櫓門のうち、鉄門を復元整備するための詳細設計を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲府城跡櫓門復元検討委員会の設置・開催 2回 ・同建造物部会等の開催 15回 ・甲府城跡櫓門（鉄門）詳細設計の実施
8 やまなし若者地域活性化プロジェクトの推進 【社会教育課】	社会教育振興費 (2,400) 1,382	<p>中心市街地の活性化とともに将来の地域リーダーの育成を図るため、学生等の若者による地域活性化プロジェクトを実施し、その成果を報告した。</p> <p>これにより、各事業に関わった若者は地域活性化における人的・物的に多くのノウハウを獲得し、地域活性化に貢献した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進委員会の開催 8回 ・地域活性化プロジェクトの公募 平成22年6月 ・実行委員会による地域活性化プロジェクトの実施 平成22年7月～平成23年3月 ・事業報告会 平成23年3月

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
9 声かけあいさつ運動の推進 【県民生活・男女参画課】	—	<p>社会全体の連帯感を強め、明るく安全で住みよい地域社会づくりを推進するため、庁内連絡会の開催や各種啓発活動を実施するなど、声かけあいさつ運動を推進した。</p> <p>これにより、地域社会の人と人とのつながりを深め、犯罪に強い地域社会づくりの推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「声かけ、あいさつ運動」庁内連絡会の開催 平成 22 年 5 月 ・啓発活動の実施 のぼり旗・懸垂幕の掲出 「さわやか、あいさつリレー」庁内放送の実施 警察音楽隊お昼のミニコンサート（甲府駅前）での啓発チラシ配布
10 社会教育関係団体の活性化 【社会教育課】	社会教育振興費 (800) 753	<p>地域における教育力の向上を図るため、社会教育振興フォーラムの開催や体験交流など、社会教育関係団体が行う取り組みに対して支援した。（※やまなし地域塾として実施）</p> <p>これにより、社会教育振興フォーラム、体験交流事業、社会教育関係団体指導者養成事業に取り組み、各団体等の活動の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育振興フォーラムの実施 平成 22 年 11 月 ・体験交流事業の実施 4 地区（中北、峡東、峡南、富士・東部） ・社会教育関係団体指導者養成事業の実施 3 回
11 子どもクラブの活性化 【社会教育課】	社会教育振興費 (300) 300	<p>子どもクラブ活動の活性化を図るため、交流キャンプや親睦球技大会の開催など、子どもクラブ指導者連絡協議会が行う取り組みに対して支援した。（※やまなし地域塾として実施）</p> <p>これにより、交流活動（ふるさと子どもランドカーニバル）では、77 人が参加し、県内の子ども同士や地域を越えた東京の子どもたちとの交流が活発に行われることに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプを通しての交流活動 平成 22 年 7 月 ・子どもクラブ親睦球技大会の開催 平成 22 年 8 月

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
12 やまなし学校 応援団の育成 【社会教育課】	社会教育振興費 (10,855) 9,290	<p>教員の子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の充実及び地域の教育力の活性化を図るため、地域全体で学校を支援する体制づくりを推進した。</p> <p>これにより、前年度と比較して、学校応援団整備市町村数は、9市町村増加し26市町村となり、学校支援の事業数については、5,575事業増加し13,048事業に拡大した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育成協議会の設置 平成22年6月 ・育成協議会の開催 2回 ・コーディネーター研修会の開催 3回 ・ボランティア研修会の開催 4回 ・市町村（学校応援団）への支援

「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	4	「はぐくむ・やまなし」の実現
----------	---	----------------

政策	5	県立文化施設の整備・活用	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	12	
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】 県民が生涯を通じて芸術・文化に親しめる環境をつくっていくためには、県立文化施設の整備を進めるとともに、その活用を図っていくことが重要です。このため、新しい時代にふさわしい県立図書館の整備を、県民の幅広い意見を踏まえながら進めます。また、県立文化施設が提供するサービスの向上を一層推進し、利用客のリピーター化などを図ります。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 新県立図書館の建物建設工事及び情報システム詳細設計の実施		P.110	教育委員会	
	○ ミュージアム甲斐・ネットワークの推進		P.110	教育委員会	
	○ 県立美術館収蔵品の巡回展の実施		P.110	教育委員会	
	○ 県内博物館等の相互割引制度の導入		P.111	教育委員会	
	○ やまなし再発見講座の開催		P.111	企画県民部	
	○ 指定管理者制度の新規施設への導入		P.111	知事政策局	
	○ 山梨県文化賞の授与		P.112	企画県民部	
	○ 県立文化施設の企画展等の開催・充実		P.112	教育委員会	
	○ ブックリスト「こどもにすすめたい本」の作成		P.114	教育委員会	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			5,839 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			3,854 百万円	
	前年度までの事業費			2,853 百万円	
	本年度の事業費			1,001 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	ミュージアム甲斐・ネットワーク 会議参加博物館数	76 館 (H18)	120 館 (H22)	115 館 (H22)	88.6
	県立文化施設（美術館、博物館、 考古博物館、文学館）の入館者数	568,391 人 (H18)	575,000 人 (H19~H22の平均)	685,513 人 (H19~H22の平均)	1,772.2

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>1 新県立図書館の整備</p> <p>【新図書館建設室】</p>	<p>図書館費 (1,344,838) 498,102 [846,499]</p>	<p>誰もが多様な知識や情報をたやすく入手でき、学習や生活に活かしていくことができるよう、新しい時代にふさわしい県民に親しまれる新県立図書館の整備に向け、準備を進めた。</p> <p>これにより、建物の建設工事、情報システムの詳細設計を実施し、新県立図書館の整備は順調に進んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の建設工事 平成 22 年 10 月～平成 24 年 5 月 ・情報システム構築業務委託 平成 22 年 7 月～平成 25 年 3 月
<p>2 ミュージアム甲斐・ネットワークの推進</p> <p>【学術文化財課】</p>	<p>——</p>	<p>県民文化のさらなる向上を図るため、県内博物館等によるネットワーク会議を充実させるとともに、博物館が本来持っている資料収集、調査研究等の機能を活用し、県内博物館等が連携して「やまなし学」の推進を図った。</p> <p>また、県内博物館が連携し、「夏休み自由研究プロジェクト」を実施するなど、県内博物館の相互連携が推進することに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク会議の開催 平成 22 年 6 月、11 月 部会 3 回 参加 115 館
<p>3 アートミュージアム・ネットワークの推進</p> <p>【学術文化財課】</p>	<p>芸術文化振興費 (660) 420</p>	<p>県民の美術鑑賞の機会を充実し、文化水準の向上を図るため、県内美術館のネットワーク化を図った。</p> <p>これにより、県内美術館の連携に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立美術館収蔵品の巡回展の実施 韮崎大村美術館 平成 22 年 9 月 4 日～10 月 11 日 女性作家の作品 17 作品を貸借

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 ミュージアム 甲斐 in (会 員) 募集 【学術文化財課】	———	<p>県立文化施設に何度も足を運んでいただける方を増やすため、美術館や文学館など4つの県立施設を対象とするミュージアム甲斐 in 券（4館共通定期観覧券）を平成19年度から発行するとともに、平成20年度から県内博物館等との相互割引制度を導入した。</p> <p>これにより、4館の常設展、企画展の入館者は343,435人となり、利用者増に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアム甲斐 in 券の発行 ・県内博物館等の相互割引制度の導入 平成20年4月から14館で実施
5 山梨のアイデ ンティティの 形成 【生涯学習文化課】	社会教育振興費 (812) 592	<p>県民の郷土に対する愛情を育むとともに、山梨県民としてのアイデンティティを確立するため、生涯学習推進センターにおいて、本県の自然・歴史・文化・民俗などに関する学習機会を提供した。</p> <p>これにより、「山梨学講座」や「やまなし再発見講座」等が開催され、県民の生涯学習の推進が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨学講座の開催 5回 参加者 285人 ・やまなし再発見講座の開催 21回 参加者 1,973人
6 指定管理者制 度の導入促進 【行政改革推進課】	———	<p>県有施設の一層のサービス向上と経費の節減を図るため、新たに1施設に指定管理者制度を導入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規導入施設 中小企業人材開発センター ・指定管理者の指定 平成23年3月 ・指定管理者による管理運営開始 平成23年4月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果																		
7 芸術文化ネットワークの推進 【生涯学習文化課】	芸術文化振興費 (3,966) 2,910	<p>地域文化の振興を図るため、地域の文化施設と連携し、優秀な芸術文化に触れる機会を提供した。また、山梨らしい個性豊かな芸術文化の創造や振興を図るため、「山梨県文化賞」により功績のあった方々を顕彰した。</p> <p>これにより、南アルプス市においてコンサートを開催し、優れた芸術鑑賞の機会を提供するとともに、県民文化ホールとの技術交流やネットワークづくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県文化賞の授与 文化功労者賞1人、奨励賞8人・1団体 ・地域文化施設での鑑賞事業の実施 東京交響楽団特別演奏会 平成22年9月 白根桃源文化会館 参加者704人 																		
8 県立文化施設の運営 【学術文化財課】	美術館費 (189,179) 95,633 [67,666] 考古博物館費 (87,845) 54,333 [27,070] 文学館費 (128,018) 65,519 [47,400] 博物館費 (315,369) 281,172 [830]	<p>生活に潤いをもたらす文化の振興を図るとともに、生涯学習ニーズに応じた学習機会を提供するため、県立文化施設において、美術や文学、歴史等に接する機会を充実した。</p> <p>これにより、4館の常設展・企画展の入場者について、4館合計では343,435人が利用するなど、より多くの県民に学習・鑑賞機会が提供された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展等の開催・充実 美術館事業 <table border="1" data-bbox="678 1361 1430 1883"> <thead> <tr> <th>特別展</th> <th>開催時期</th> <th>入館者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛のヴィクトリアン・ジュエリー展</td> <td>4月10日～6月6日</td> <td>19,024人</td> </tr> <tr> <td>池田龍雄展</td> <td>6月19日～7月19日</td> <td>3,448人</td> </tr> <tr> <td>くじらぐもからチックタックまで展</td> <td>7月25日～8月29日</td> <td>10,495人</td> </tr> <tr> <td>フェリックス・ティオリエ写真展</td> <td>9月4日～10月17日</td> <td>5,407人</td> </tr> <tr> <td>小林一三の世界展</td> <td>10月30日～11月30日</td> <td>15,211人</td> </tr> </tbody> </table>	特別展	開催時期	入館者	愛のヴィクトリアン・ジュエリー展	4月10日～6月6日	19,024人	池田龍雄展	6月19日～7月19日	3,448人	くじらぐもからチックタックまで展	7月25日～8月29日	10,495人	フェリックス・ティオリエ写真展	9月4日～10月17日	5,407人	小林一三の世界展	10月30日～11月30日	15,211人
特別展	開催時期	入館者																		
愛のヴィクトリアン・ジュエリー展	4月10日～6月6日	19,024人																		
池田龍雄展	6月19日～7月19日	3,448人																		
くじらぐもからチックタックまで展	7月25日～8月29日	10,495人																		
フェリックス・ティオリエ写真展	9月4日～10月17日	5,407人																		
小林一三の世界展	10月30日～11月30日	15,211人																		

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果																																	
9 県立文化施設の 魅力向上 【学術文化財課】	———	<p style="text-align: center;">考古博物館事業</p> <table border="1" data-bbox="676 338 1430 477"> <thead> <tr> <th>特別展</th> <th>開催時期</th> <th>入館者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発掘された女性の系譜</td> <td>10月9日～11月28日</td> <td>4,329人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">文学館事業</p> <table border="1" data-bbox="676 551 1430 864"> <thead> <tr> <th>企画展</th> <th>開催時期</th> <th>入館者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山崎方代展</td> <td>5月1日～6月27日</td> <td>3,589人</td> </tr> <tr> <td>くじらぐもからチックタックまで展</td> <td>7月25日～8月29日</td> <td>10,495人</td> </tr> <tr> <td>井伏鱒二と飯田龍太展</td> <td>9月18日～11月23日</td> <td>3,899人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">博物館事業</p> <table border="1" data-bbox="676 976 1430 1406"> <thead> <tr> <th>企画展</th> <th>開催時期</th> <th>入館者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展</td> <td>4月17日～5月31日</td> <td>20,886人</td> </tr> <tr> <td>近くて懐かしい昭和展</td> <td>7月17日～8月30日</td> <td>29,354人</td> </tr> <tr> <td>甲斐源氏列島を駆ける武士団</td> <td>10月9日～12月6日</td> <td>11,918人</td> </tr> <tr> <td>北斎の富嶽三十六景</td> <td>3月19日～5月9日</td> <td>10,432人</td> </tr> </tbody> </table> <p>県民が芸術・文化・科学に、より一層親しめるよう、県立文化施設の魅力向上を図った。 これにより、前年度にリニューアル工事を実施した文学館の常設展・企画展合計入館者数は、5,701人増加した。</p>	特別展	開催時期	入館者	発掘された女性の系譜	10月9日～11月28日	4,329人	企画展	開催時期	入館者	山崎方代展	5月1日～6月27日	3,589人	くじらぐもからチックタックまで展	7月25日～8月29日	10,495人	井伏鱒二と飯田龍太展	9月18日～11月23日	3,899人	企画展	開催時期	入館者	チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展	4月17日～5月31日	20,886人	近くて懐かしい昭和展	7月17日～8月30日	29,354人	甲斐源氏列島を駆ける武士団	10月9日～12月6日	11,918人	北斎の富嶽三十六景	3月19日～5月9日	10,432人
		特別展	開催時期	入館者																															
		発掘された女性の系譜	10月9日～11月28日	4,329人																															
		企画展	開催時期	入館者																															
		山崎方代展	5月1日～6月27日	3,589人																															
		くじらぐもからチックタックまで展	7月25日～8月29日	10,495人																															
		井伏鱒二と飯田龍太展	9月18日～11月23日	3,899人																															
		企画展	開催時期	入館者																															
		チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展	4月17日～5月31日	20,886人																															
		近くて懐かしい昭和展	7月17日～8月30日	29,354人																															
		甲斐源氏列島を駆ける武士団	10月9日～12月6日	11,918人																															
		北斎の富嶽三十六景	3月19日～5月9日	10,432人																															

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
10 ブックリスト「こどもにすすめたい本」の作成・配布 【社会教育課】	図書館費 (158) 158	<p>子ども達に読書の楽しさを伝えるとともに、大人も子どもの本についての理解と関心が深められるよう、公共図書館の司書等が選定したブックリストを作成し、配布した。</p> <p>これにより、各年齢層にあった図書を広く紹介し、子どもの読書活動の普及啓発に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックリスト「こどもにすすめたい本」の作成 5,000部
11 子ども読書活動への支援 【社会教育課】	図書館費 (700) 638	<p>子どもの読書活動の活性化を図るため、県立図書館こども室において、読書の案内や読書相談などを行うとともに、子どもの読書活動支援者への情報提供や啓発活動を実施した。また、市町村立図書館や学校図書館等への団体貸出等の支援を行った。</p> <p>これにより、前年度と比較して利用児童数が184人増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書案内、読書相談 ・子どもの読書に関する情報提供 ・団体貸出
12 子ども読書活動推進体制の強化 【社会教育課】	社会教育振興費 (164) 47	<p>子どもの読書活動に携わる人材の資質向上に資するため、研修会等を開催するとともに、子どもの読書活動推進に係る団体の連携を強化した。</p> <p>これにより、子ども読書等に関わるボランティアグループなどの団体への児童書の貸出数が前年度より80点増加し、子ども読書活動推進体制の強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動推進スキルアップ講座の開催 5回